

外国人選手の移籍に関する研究

一日、中プロバスケットボールに着目してー

スポーツビジネス研究領域

5010A055-3 田 珊

【背景】

スポーツという文化事象はグローバル化の中、商品として拡大を遂げている（石原、2010）。激しい国際的な競争の中、利益を拡大し、成功をおさめるために、各クラブチームは国籍を問わず、自分のチームを強化できる選手を探している（Orhan Karaca、2008）。

現在、bj リーグ（大分ヒートデビルズを除く）では、合計 80 人の外国選手が在籍している。この 80 人の外国選手において、83.8%の外国人選手がアメリカの出身である。ほかの国から出身した外国人選手の割合はただ 16.2%だけである。JBL のほうでは、2011-2012 シーズンに、合計 23 人の外国人選手が在籍している。65.2%の外国人選手がアメリカの出身である。他の国の出身外国人選手の割合は 34.8%に留まっている。

以上、bj リーグ、JBL 両方から見ると、プロ選手として、中国から日本のプロバスケットボールに移籍した中国人選手は一人もいない状況である。

【研究目的】

本研究の目的は、①外国人選手の移籍に影響を与える要因を体系的に把握し、移籍活動を説明するモデルを明らかにする。また、中国プロバスケットボール選手の移籍パターンを示すことを目的とする。②中国から、プロバスケットボール選手として日本の bj リーグ、JBL に移籍した中国人がいない原因を検討することを目的とする。

【研究方法】

本研究では、先行研究を踏まえ、図 1 に示したように、国際移籍に影響を与える要因が「移籍元プロバスケットボールリーグ要因」、「移籍先プロバスケットボールリーグ要因」、「選手自身の要因」、「媒介要因」、「社会的要因」の 5 つの要因と考えられ、仮説モデルを設定した。

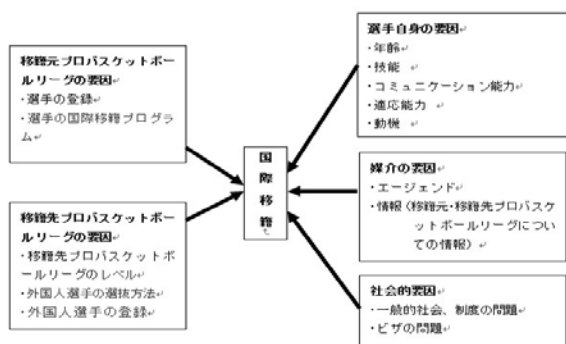


図 1. 仮説モデル

また、ドキュメント分析を通じて、CBA、bj リーグ、JBL に関する規則、また、規則に関する文献を

研究指導教員：木村 和彦 教授

収集し、中国のプロバスケットボール選手が日本への移籍を阻害する要因を分析する。さらに、インタビュー調査、質問紙調査を通じて、国際移籍に影響を与える要因と中国プロバスケットボール選手の移籍パターンを明らかにする。

【結果および考察】

1. ドキュメント分析

①CBA において、「クラブチームは選手に対して「優先登録権」を得ている。「優先登録権」の結果、長期契約をした青年選手は、もし、所属するクラブが早めに契約を解除する意向がなければ、選手は他のクラブに移籍することができない。

②以下の4つの条件を全て満たしている選手だけが、中国バスケットボール協会の許可を得た場合、海外のプロバスケットボールリーグに移籍することができる。第 1、中国バスケットボール協会に登録され、男子 22 歳（女子 20 歳）を満たしている。第 2、CBA のクラブとの契約が満了、あるいは、契約が満了していなくても、クラブは、早めに契約を解除する意向がある。第 3、中国代表（U20、U18 チームを除く）として、2 回以上のアジア大会レベル以上の国際試合に参加した経験がある。第 4、地方の体育局を推薦する選手。

③CBA を除く、選手が国内および海外の興行目的のバスケットボール試合から得た収入の 50%を中国に納付する。この管理方法は大きな阻害要因となっていることがわかる。

④bj リーグの海外トライアウトはアメリカで開催するだけで、リーグ自体がアメリカの出身の選手を注目し、制限したと考えられる。

⑤bj リーグにおいて、日本のバスケットボールを活性化することにより、プロフェッショナルかつエンターテインメントあふれるプレーを魅せるとともに、地域社会におけるスポーツ文化の向上と国際化に貢献することを目的とする。

しかし、JBL において、主に日本バスケットボールの普及・育成・強化と目的として、JBL では、日本人選手への出場機会を確保するため、外国人選手の人数が bj リーグより非常に少なく、中国のプロバスケットボール選手にとって、移籍の機会も少ない原因の一つになっていると考えられる。

2. インタビュー調査

①インタビュー調査対象選手：

中国選手が海外移籍の阻害要因は主に以下の 2 つである。

(1)中国バスケットボール協会・省のバスケットボール協会において、選手の移籍を阻害している政策がある。

(2)中国体育制度方面の原因。現在、中国の各省（市、区）が大量な人的資源や物質的資源をかけ、若い選手を育成したので、かけたものを無駄にしないように、人材が他の省（市、区）に渡ることを避けるになっている。

また、中国から、プロバスケットボール選手として日本のbjリーグ、JBLに移籍した中国人がいない原因：

- (1)中国体育制度方面の原因
- (2)中国バスケットボール協会の政策
- (3)コミュニケーションが難しい
- (4)青年選手が安定で前に進むために、年俸が少なくても、CBAでプレーをする
- (5)bjリーグ、JBLについて、あまり知らない

②日本のプロバスケットボールリーグの関係者：以下のような外国人選手をとりたい：

- (1)日本でプレーをした経験がある選手
- (2)日本のトレーニング方法、練習の方法、日本の生活を慣れる選手
- (3)相手の考え方がチームに合わせる

また、中国プロバスケットボール選手の情報が入らないこと、また言葉、通訳の問題が、中国プロバスケットボール選手が日本に移籍することを阻害していることが分かる。従って、現在、日本のプロバスケットボールリーグでは、プロ選手としての中国人選手が一人もいない状況である。

3. 質問紙調査

①海外のプロバスケットボールリーグに移籍希望がある選手の特徴：

- (1)半数以上（54.6%）の選手が自分の年収を満足していない。
- (2)バスケットボールについての英語専門用語の熟知度が高くない。

(3)海外のプロバスケットボールリーグに移籍する理由は：

プロ選手として成功したい、夢を追い、自分の価値を探す、金銭目的、海外のよいコーチやトレーニングなどの環境や設備、プロ選手として経験を積みたい、海外のチャンスの偏在。

(4)年齢と外国語（コミュニケーション能力）より、選手自身の技能の程度が海外への移籍に影響を与える方が大きい。

(5)移籍元と移籍先リーグの規則に制約されることは海外への移籍の第一の阻害要因である。

(6)中国人プロバスケットボール選手が身体的対抗や個人的能力を重視するNBAよりチームワークや戦術を重視するヨーロッパのプロバスケットボールリーグへ移籍する希望が高い。

- (7)bjリーグ/JBLについての認知度が低い。
- ②bj/JBLに移籍する希望がある選手の特徴：
 - (1)「bj/JBLに移籍する希望がある理由」は：金銭目的と日本のチャンスが多いことを注目している。

(2)現在、bj/JBLにおいてプロ選手として中国から

移籍した選手がいない理由は主にエージェントが欠けることと判断される。

③bjリーグ/JBLに移籍する希望がない選手の特徴：

現在、bjリーグ/JBLにおいてプロ選手として中国から移籍した選手がいない理由は主にCBAとbjリーグ/JBLの規則に制約されること。

④海外のプロバスケットボールリーグに移籍希望がない選手の特徴：

(1)海外のプロバスケットボールリーグに移籍希望がある選手より、bjリーグ/JBLについての認知度が更に低い。

(2)現在、bjリーグ/JBLにおいてプロ選手として中国から移籍した選手がいない理由は主にエージェントが欠けることと判断される。

(3)海外のプロバスケットボールリーグに移籍する希望がない理由：

- 移籍先リーグの情報が手に入らないこと
- 自分の外国語能力が低いこと
- 自分の年齢が不適切こと

【結論】

本研究を通じて、国際移籍に影響を与える要因を図2に示す。

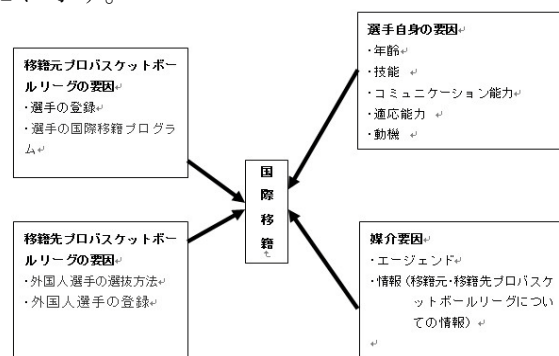


図2. 国際移籍に影響を与える要因

「移籍先プロバスケットボールリーグのレベル」、「一般的社会、制度の問題」、「ビザの問題」は国際移籍にそれほど大きな影響を与えているとは考えられないので、仮説モデル（図1）を修正し、図2では削除した。

また、中国人プロバスケットボール選手の移籍パターンとして、中国人プロバスケットボール選手がフィジカルや個人的能力を重視するNBAよりチームワークや戦術を重視するヨーロッパのプロバスケットボールリーグへ移籍する希望が高い。

中国から、プロバスケットボール選手として日本のbjリーグ、JBLに移籍した中国人がいない原因は以下の6つと考えられる：

- ①政策
- ②bjリーグ、JBLに対して認知度が低い
- ③アメリカの出身の選手を注目し
- ④移籍の機会が少ない
- ⑤言葉の問題
- ⑥エージェントが少ない